

合併70周年記念誌

1955-2025



福島県金山町



輝きを未来へ繋ぐために ～自然のめぐみと不屈のこころ～

金山町長 押部 源二郎

令和7年、金山町は合併70周年の佳節を迎えることができました。これまで町を支えてこられた皆様に心より感謝と敬意を表します。

合併当時は只見川電源開発事業の最盛期であり、人口が1万人を超えていましたが、今や高齢化率は60%を超えています。

この厳しい現実に向かい合うため、昭和52年の「自然教育村宣言」、平成2年には「妖精の里」開村宣言を行い、まちづくりのイメージを大きく刷新しました。また、保健事業を充実させ、高齢者の皆様が安心して暮らせる環境づくりにも力を注いでまいりました。

こうした中、平成23年の新潟・福島豪雨では、只見線が運行停止するという未曾有の災害に見舞われましたが、町民一丸となった不屈の精神で、見事に立ち直り、復興を遂げました。

先人たちが築き上げてきた歴史と文化を受け継ぎながら、皆が共に支えあい、笑顔と希望に満ちた金山町を創造するため、町民の皆様と共に、次の70年に向けて力強く歩みを進めてまいります。

未来の 「合併80周年・90周年」を 見据えて

金山町議会議長 五ノ井 義一

金山町は、昭和30年3月、横田村、本名村、川口村、沼沢村の「4村」が合併し、本年合併70周年という節目の年を迎えました。町民の皆さまと共に喜び申し上げます。

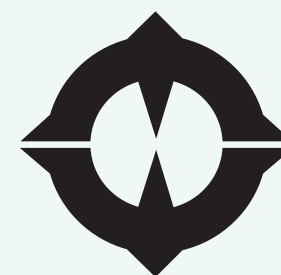
急務の課題としては少子・高齢化や人口減少対策があります。高齢者に優しい健康長寿の町づくりを目指すこと、次世代を担う若者・子育て世代の支援等は最優先課題ですが、10年、20年先の未来を見据えての町づくりが重要であります。キーワードは「JR只見線、地域資源を生かした町づくり」。町には天然炭酸温泉等の天然温泉、霧幻峡、沼沢湖、癒しの森等数多くの資源があります。これらを活用して町外から多くの方においでいただき、交流人口から関係人口へ、そして移住・定住へと結びつける施策が必要であります。議会といたしましても、より良い町づくりの実現に努めて参ります。

合併70周年を良い機会と捉え、町民の皆さまと一緒に未来を見据えた町づくりを進めていきたいと思います。

CONTENTS

- 町長あいさつ 02
- 議長あいさつ 03
- 金山町大年表 04
- 時代をつなぐ
町の10年を写真で振り返る
..... 09
- 大好きかねやま 12
- 未来へつなげたいかねやま
..... 14
- 歴代町長・議長 16
- 歴史でつなぐ友好都市
..... 17
- 金山町のこと 18

金山町章



金山町の「カ」の字を天に、「山」の字を地に図案化したもので、町民の和と積極的に町づくりに取り組む姿勢を表しています。
(昭和41年3月1日制定)

70周年記念ロゴ



70の中には、ずっと変わらない四季の美しさ、観光資源、未来へと続く只見線など、金山町の魅力と素晴らしさを込めたデザインとなっています。
ロゴデザイン: 大竹恵子



太郎布高原 アザキ大根の花畑

1955-1985 (昭和30年-昭和60年)

金山町大年表

- 1955(昭和30)年
3月 沼沢・川口・本名・横田の4ヶ村が合併し金山村となる
- 4月 渡邊利一郎氏初代町長に就任
- 9月 金山村公民館創設
- 10月 国勢調査実施、人口9,555人
- 12月 議会議員選挙が執行され22人の村会議員が誕生
- 1956(昭和31)年
4月 大志地区中学校・橋立地区小学校の学区変更
- 9月 地方財政再建団体に指定
- 1957(昭和32)年
3月 金山村農業協同組合発足
- 4月 西谷地区小学校・橋立地区中学校の学区変更
- 1958(昭和33)年
4月 町制施行により金山町となる
- 1959(昭和34)年
4月 太郎布地区中学校・山中地区小中学校の学区変更
- 8月 川口・田島間、横田・布沢間、小栗山・宮下間の道路が県道に編入
- 1960(昭和35)年
10月 国勢調査人口10,119人となる
- 1961(昭和36)年
1月 県立川口高等学校新築落成
- 12月 滝発電所完成
- 1962(昭和37)年
1月 金山町商工会発足
- 4月 地方財政再建団体の指定解除
- 1963(昭和38)年
4月 各旧村に公民館設置
- 8月 三更地区で山崩れ頻発し、秋までに民家7戸移転
- 1964(昭和39)年
4月 沼沢・横田両支所廃止
- 5月 三更地区ブナ坂が大崩落し、のち分散移転
- 5月 広報かねやま発刊
- 6月 東洋大学学生寮「只見川荘」落成
- 7月 川口金洗地区に国保診療所開設
- 1965(昭和40)年
2月 国鉄只見線に本名・越川・大塩駅が新設
- 3月 只見までの沼田街道が国道252号となる
- 5月 合併10周年記念式典
- 6月 川口小学校体育館落成
- 10月 国鉄只見線にディーゼルカー準急あいづ号運転
- 1966(昭和41)年
3月 町章制定
- 3月 放送文化都市宣言を行う
- 11月 林道上井草橋完成
- 12月 川口に町内初の常設保育所開設
- 1967(昭和42)年
4月 渡邊利一郎町長就任
- 6月 町営玉梨放牧場開設
- 9月 NHK西金山中継局開局
- 1968(昭和43)年
4月 横田中学校鉄筋コンクリート校舎完成
- 5月 東京金山会誕生
- 6月 黒鉱開発本格のボーリング始まる
- 7月 沼沢地区に学生村開設
- 9月 川口駅前の農協ビル開設
- 10月 福島テレビ東金山中継局開局
- 1969(昭和44)年
4月 福島テレビ西金山中継局開局
- 8月 診療所に歯科開設
- 8月 未曾有の集中豪雨災害発生 死者8名
- 12月 水沼橋流出 大岐部落壊滅 災害救助法が適用される
- 1970(昭和45)年
12月 雪上車運行開始
- 山村振興法指定
- 1971(昭和46)年
4月 釜山廃液による公害問題発生
- 8月 長谷川源太郎町長就任
- 11月 会津若松・小出間が国鉄只見線として全線開通
- 12月 町議会議員定数18人となり初の改選
- 地域集団電話開通(555台)
- 川口中学校寄宿舎完成



- 1972(昭和47)年
3月 農業構造改善事業のパイロット地区に指定
- 9月 横田釜山休山
- 9月 新国縫製工場西部で操業開始
- 10月 町内で初の百歳者誕生
- 11月 横田中学校体育館完成
- 11月 金山町観光協会設立
- 1973(昭和48)年
1月 中川に広域消防出張所設置
- 3月 金山町振興計画策定
- 5月 スクールバス運行開始
- 8月 沼沢湖水まつり開始
- 9月 水沼に共同被服株式会社津工場操業開始
- 9月 国道252号全線開通
- 田代釜山閉鎖
- 1974(昭和49)年
2月 国民保養センター「せせらぎ荘」オープン
- 3月 国道252号で土砂崩れ事故発生町民3人死亡、1人重傷
- 10月 「金山町史」上巻発刊
- 1975(昭和50)年
3月 金山町森林組合が両沼西部森林組合に合併
- 4月 長谷川源太郎町長再選
- 10月 只見川電源開発の後遺症を解決するため東北電力と協定締結
- 1976(昭和51)年
3月 「金山町史」下巻発刊
- 4月 過疎地域に指定される
- 8月 町の木、花、鳥選定
- 9月 開発センターが開館し合併20周年記念式典記念行事実施
- 1977(昭和52)年
4月 川口小・玉梨小が統合し川口小学校となる
- 4月 横田小・山入分校・大塩小が統合し横田小学校となる
- 5月 沼沢に自然休養村センターオープン
- 6月 第二沼沢発電所工事着工
- 11月 川口に商工会館開設



- 1978(昭和53)年
4月 沼沢・川口両中学校が統合し第一中学校となる
- 旧五十島家住宅が県の重要文化財に指定
- 中川に民俗資料館完成
- 9月 大栗山・沼沢間の町道が舗装になる
- 10月 渡部義博町長就任
- 11月 西部橋完成
- 1979(昭和54)年
10月 横田地区の農協ライスセンターが操業開始
- 1980(昭和55)年
6月 診療所歯科休診
- 10月 国勢調査実施、人口4,790人
- 12月 横田小学校新校舎完成
- 三条集落移転決定
- 1981(昭和56)年
4月 水沼小・沼沢小・中川小・川口小が統合し、新築校舎で金山小学校となる
- 6月 県道田島・金山線が国道400号に昇格
- 10月 金山町観光協会発足
- 1982(昭和57)年
4月 県立川口高校の新校舎完成
- 5月 役場新庁舎の完成 業務開始
- 7月 第二沼沢発電所完成
- 10月 羽生市と友好都市宣言
- 1983(昭和58)年
11月 峰越林道の開通
- 11月 旧沼沢小学校校舎で沼沢湖山荘が営業開始
- 1984(昭和59)年
4月 新林業構造改善事業開始
- 9月 第一中学校運動場に夜間照明設備完成
- 1985(昭和60)年
5月 新診療所完成 診療開始
- 10月 第1回町民運動会開催
- 1985(昭和60)年
1月 中川で東京ビジョン金山精工操業開始
- 3月 町民憲章・町民の歌・金山音頭を制定
- 4月 町民体育館完成
- 7月 合併30周年記念式典
- 10月 国勢調査実施、人口4,282人



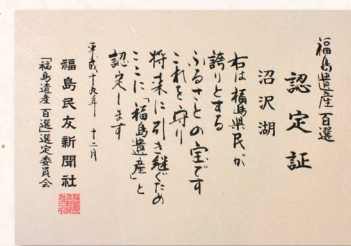
1986-2014 (昭和61年 - 平成26年)

金山町大年表

- 1986(昭和61)年
4月 上野原農地に作付け開始
7月 玉梨小学校を改装した自然教育村会館がオープン
10月 長谷川恒雄町長就任
- 1987(昭和62)年
3月 会津川口駅に金山町農協・川口郵便局を合築した民衆駅が業務開始
4月 会津かねやま振興公社設立
- 1988(昭和63)年
11月 滝沢で東京ビジョン福島管理センター操業開始
診療所の融雪道路完成
- 1989(平成元年)年
4月 社会福祉法人金山町社会福祉協議会設立
老人福祉センターオープン
8月 社会福祉法人かねやま福祉会設立
- 1990(平成2)年
4月 中山間地域農村活性化総合整備事業計画の開始
特別養護老人ホーム「かねやまホーム」オープン(30床)
株式会社金山製作所操業開始
妖精の里づくりを宣言
10月 川口トンネル・川口橋が開通
長谷川恒雄町長無投票で再選
- 1991(平成3)年
4月 防災行政無線が完成
5月 大蛇が完成 8月の湖水まつりに登場
12月 定数14人になった町議会議員選挙は無投票で新議員誕生
- 1992(平成4)年
4月 活性化センター「こぶし館」開館
5月 大蛇資料館・フィールドアスレチック・妖精の小径がそろってオープン
12月 太郎布にスノーモビルランドが開設
- 1993(平成5)年
4月 新横田保育所完成
5月 映画「あひるのうたがきこえてくるよ」沼沢湖周辺で撮影
9月 妖精美術館開館
- 1994(平成6)年
4月 本名小学校が金山小学校に統合される
9月 須田先生が金山町名誉町民に
10月 町内の会津バス3路線の廃止に伴い町営バスの運行開始
長谷川恒雄町長無投票で三選
- 1995(平成7)年
3月 若者向町営住宅「カックウハウス」完成
6月 吹上町(現・鴻巣市)と友好都市宣言
- 1996(平成8)年
12月 町営スキー場オープン
- 1997(平成9)年
3月 新川口保育所完成
7月 「むつみ生活改善グループ」、全国農業コンクール・名誉賞受賞
9月 会津地方防災訓練が金山町で開催
婦人消防クラブ結成
- 1998(平成10)年
3月 友好都市と災害時における相互応援協定を締結
8月 妖精美術館の入館者が5万人達成
- 1999(平成11)年
3月 JA会津みどり誕生
5月 国道252号本名バイパス開通
7月 県立川口高校創立50周年
10月 斎藤勇一町長が就任
12月 町営スキー場の太郎布グレンデ及びあすなろ館オープン
- 2000(平成12)年
10月 松坂峠トンネル化目指し、横田地区と明和地区の交流会開催
- 2001(平成13)年
3月 名誉町民の須田透氏が逝去
4月 町道中川・大栗山線の木冷橋完成
携帯電話(NITDOコモ)使用開始
10月 国勢調査実施、人口3,204人
- 2002(平成14)年
4月 第3次振興計画がスタート
横田デイサービスセンター
(横田出張診療所が併設開所)
上横田の滝沢医院が開院
8月 JRR只見線開通30周年、SL記念運行
10月 横田地区にFM中継局が開局
- 2003(平成15)年
3月 芸能伝承館「ふるさとむかし館」が完成
4月 大沼西部地区3町村合併検討協議会が設立(平成15年3月解散)
6月 田沢地区農業集落排水施設が供用開始
四季彩橋が完成
10月 斎藤勇一町長再選
- 2004(平成16)年
3月 国道252号西谷橋開通
9月 沼沢漁業協同組合発足
11月 多目的体育施設「御神楽館」完成
12月 定数12人になった町議会議員選挙で新議員が誕生
横田地区で携帯電話使用可能となる



- 2005(平成17)年
3月 金山町合併50周年
川口交換局でADSLが開通
6月 旧上井草橋落橋事故発生、JRR只見線一時不通
7月 椎名誠写真館オープン
10月 国勢調査実施、人口2,834人
- 2006(平成18)年
8月 広報かねやま500号発行
9月 広報かねやま縮刷版第4巻発行
10月 長谷川律夫町長が就任
11月 グループホームかねやま開所
- 2007(平成19)年
2月 小栗山地区で大規模な土砂災害発生
9月 国保診療所に歯科開設
11月 定数10人になった町議会議員選挙で新議員が誕生
- 2008(平成20)年
1月 福島遺産百選に「沼沢湖」が認定
3月 山入地区に携帯電話基地局完成
株式会社かねやま設立
6月 天然炭酸水awa心水がモンドセレクションで最高金賞を受賞
7月 金山町ふるさと応援寄付金を募集開始
11月 「杜氏」佐藤壽一さん「現代の名工」受賞
12月 にほんの里100選に「中川」が選定
東金山中継局で地上デジタル放送開始
- 2009(平成21)年
3月 第一中学校・横田中学校が閉校
沼沢・太郎布地区に携帯電話基地局が完成
4月 金山中学校が開校
金山町乗合タクシー運行開始
5月 金山町観光情報センター開設
- 2010(平成22)年
3月 (株)奥会津かねやま大自然設立
- 2011(平成23)年
4月 奥会津振興センター開所
7月 消防操法大会両沼予選会で二部門優勝
8月 宮崎栗団地跡記念碑と記念誌完成
9月 国道400号暫定開通
10月 長谷川律夫町長無投票で再選
11月 国勢調査実施、人口2,462人
12月 地上デジタル放送金山・西金山局開局
JA会津みどり金山ライスセンターが竣工
- 2012(平成24)年
3月 金山小学校新体育館完成
4月 かねやまネット供用開始
7月 金山町鳥獣被害防止対策協議会設立
新湯・福島豪雨災害
国道252号二本木橋流失、町道田沢橋西部橋流失
JR只見線4鉄橋流失
住宅被害103棟 避難勧告7地区369世帯 自主避難95世帯
災害救助法が適用される
JR只見線会津川口駅まで運行再開
田沢橋・二本木橋仮橋開通
- 2013(平成25)年
4月 道の駅「奥会津かねやま」オープン
8月 川口浄化センター通水
公式キャラクター「かぼまる」誕生
10月 金山町消防団機能別団員(OB隊)結成
11月 国道252号二本木橋開通
12月 西部橋開通
定住促進住宅中川沖根原住宅完成
- 2014(平成26)年
3月 金山町少子化対策推進条例制定
6月 金山町消防団に総務大臣感謝状
10月 長谷川盛雄町長が就任
12月 広報かねやま600号発行
国道252号滝トンネル開通



時代をつなぐ町の10年を写真で振り返る



JR只見線への愛着を深めるねらいで
「金山町只見線にみんなで手を振ろう」条例施行



金山町温泉保養施設「せせらぎ荘」が
リニューアルオープン



金山FM補完中継局本放送始まる
ほぼ全ての地区でラジオ聴取が可能に

平成27年
2015

3月

10月

平成28年
2016

9月

平成29年
2017

10月

平成30年
2018

1月

5月

6月



金山町が誕生してから60年
合併60周年記念式典を御神楽館で開催



国道252号本名トンネル工事着工



金山町多目的共同住宅「上横田共同住宅」が完成



JR只見線会津川口・只見間鉄道復旧工事起工

2015-2025
(平成27年-令和7年)

金山町大年表

- 2015(平成27)年
 - 1月 交通事故死亡者ゼロ3000日達成
 - 3月 金山町只見線にみんなで手を振ろう条例施行
 - 4月 定住促進住宅川口馬場住宅完成
 - 4月 「ふるさと情報発信事業」(SNSによる情報発信開始)
 - 5月 鉄筋コンクリート造川口馬場住宅入居開始
 - 5月 開発センターの大規模改修を終えこけら落とし
 - 10月 合併60周年記念式典
 - 11月 国勢調査実施、人口2,189人
 - 12月 町議会議員選挙8年ぶりに選挙
- 2016(平成28)年
 - 1月 東金山FM補完中継局本放送始まる
 - 3月 JAよつば誕生
 - 9月 金山町温泉保養施設「せせらぎ荘」がリニューアルオープン
 - 10月 金山中学校にエレベーター棟を増築
 - 11月 西金山FM補完中継局本放送始まる
- 2017(平成29)年
 - 3月 金山町定住促進住宅(川口)完成
 - 10月 国道252号本名トンネル工事着工
- 2018(平成30)年
 - 1月 金山FM補完中継局本放送始まる
 - 4月 乗合タクシーの本格運行を開始
 - 5月 金山町多目的共同住宅「上横田共同住宅」が完成
 - 6月 JR只見線会津川口・只見間鉄道復旧工事起工
 - 9月 町営グラウンド・ゴルフ場(大塩)オープン
 - 10月 押部源二町長が就任
- 2019(平成31・令和元)年
 - 3月 金山町定住促進住宅(上横田)完成
 - 10月 県立川口高校創立70周年記念式典
 - 12月 国道252号本名トンネル貫通
 - 12月 定数8人となった町議会議員選挙で新議員が誕生
 - 例年になく浅雪
- 2020(令和2)年
 - 4月 車両キハ40ラストラン
 - 7月 新型コロナウイルス感染症が全国的にまん延
 - 7月 東北電力奥会津水力館みおりMIRRORがオープン



- 2021(令和3)年
 - 10月 国勢調査実施、人口1,862人
 - 12月 防災無線デジタル化改修が完了
 - 会津川口駅広場無散水消雪開始
 - 定住促進住宅(上横田)完成
- 2022(令和4)年
 - 1月 国道252号本名トンネル開通
 - 4月 金山町移住支援センター開設
 - 10月 JR只見線11年ぶりに全線運転再開
 - 11月 押部源二町長無投票で再選
 - 奥会津金山赤カボチャ生産者協議会が農林水産大臣賞を受賞
- 2023(令和5)年
 - 3月 金山町のマタタビ細工が福島県伝統工芸品に指定
 - 4月 広報かねやま700号発行
 - 5月 新型コロナウイルス感染症が5類に移行
 - 8月 地域事業が再開
 - 沼沢湖水まつりが4年ぶりに開催
 - 金山町定住促進住宅(川口)完成
- 2024(令和6)年
 - 3月 国道252号水沼工区完成
 - 9月 福島県会津地方防災訓練開催
 - 12月 町公式LINEがリニューアル
- 2025(令和7)年
 - 2月 金山観測所(中川)で観測史上最大積雪量2m35cmを記録し災害救助法が適用される
 - 3月 横田、金山小学校が閉校
 - 4月 横田、金山小学校が統合しかねやま小学校となる
 - 10月 町道中川・大栗山線開通
 - 11月 合併70周年記念式典





JR只見線全線運転再開

10月

11月

令和5年
2023



奥会津金山赤カボチャ生産者協議会
豊かなむらづくり全国表彰事業において
農林水産大臣賞受賞



車両・キハ40 多くの人に見送られラストラン

令和元年
2019

3月

令和2年
2020



金山町定住促進住宅(上横田)完成



金山マタビ細工
全国編み組工芸品展において経済産業大臣賞受賞

3月

5月

令和6年
2024



新型コロナウイルス感染症が5類に移行
地域事業の再開



東北電力奥会津水力館
みお里MIORIがオープン

4月

5月

7月



新型コロナウイルス感染症の流行
感染症対策でオンライン事業を導入



国道252号水沼工区完成

3月

令和7年
2025



各小学校で閉校式を実施

令和3年
2021

3月



奥会津かねやま福業協同組合創立



町道中川・大栗山線開通

3月

4月

10月



かねやま小学校開校



国道252号本名トンネル完成

令和4年
2022

1月

4月



移住支援センター開設

只見線から見える春夏秋冬や橋梁の景色がきれいです



只見線

かねやま小学校の皆さん

消防に関して協力的な皆さんにいつも助けられています



人の温かさ

会津坂下消防署金山出張所の皆さん

この他にも
たくさんの魅力が
挙がりました



四季折々の景色

式典で町民の歌を披露した皆さん

大好き

未来へつな

世界に一つしかない赤カボチャを
ここで栽培できることを誇りに思います



奥会津金山
赤カボチャ

奥会津金山大自然の皆さん

山々が芽吹き始める時期や
雪が降り始める時の景色がとてもきれいです

かねやま

げたい魅力



町民の皆さんに
未来へつなげたい
金山町の魅力や、
好きな所について
伺いました。

金山町民にしか分らない
独特のなまりや方言が心地よいです



なまり

かねやまホームの皆さん

スキー場からの景色や
滝沢川おう穴群の
紅葉がおすすめです



自然

川口高校の皆さん

緑豊かで澄んだ空気と
美味しい水が魅力です



きれいな空気と水

金山中学校の皆さん

特にひよっこ亭の霧幻峡らーめん、
赤かぼちゃらーめん、ゴロチャーめんがおすすめです



グルメ

山十建設の皆さん

移住支援

子育て支援

皆で子ども
を見守っている
雰囲気

美味しい
ご飯やケーキ

スキー場

家族

観光客が
たくさん

ご近所
づきあい

移住者が増えて
空き家だった所が
明るくなった

炭酸水

ダム

古民家

少人数教育
だから生まれる
団結力

まつり

人が優しくて
明るい

霧幻峡の
渡し

かぼまるが
かわいい

ぽかぽかの
温泉

沼沢湖

静かで
よく眠れる

かねやまの特産品



おくあいづ かねやまあか
奥会津金山赤カボチャ

濃いオレンジ色の皮と、お尻に大きな「へそ」があるのが特徴的。一般的なカボチャよりコクのある甘みを持ち、すぐに食べるとホクホク、熟成させるとしっとりとした食感が楽しめる。

おくあいづ かねやま てんねんたんさんみず
奥会津金山 天然炭酸の水

一日に限られた量しか採取することができない貴重な純国産の天然炭酸水。軟水にして微炭酸というまろやかな口あたり。



Marvelous!



未
つなげ
かね

来へ
たい
やま



ひやくまん べん
百万遍

毎年2月8日の夕方頃から始まる。輪になり長い数珠を反時計回りに回しながら「ナンマイダ」と念仏を唱え、その年の無病息災と家内安全を祈る。

さい かも
歳の神

無病息災を願い、小正月の夜に行われる冬の風物詩。各家から持ち寄った御札や正月飾りを供え、四方から火を放つ。



さいく
マタタビ細工

山に自生するマタタビを収穫し、割いたものを編み込んで作られる。定期的に講習会が開かれ、後世へつないでいきたい自然豊かな金山ならではの工芸品。



かねやまの伝統

春の訪れを感じさせる只見線

会津中川駅周辺では毎年桜が咲き、只見線と一緒に撮影することができる。駅の向かいには菜の花も咲き誇り、春の訪れを感じられる。



おおしふかん
大志俯瞰から望む深緑

尻吹峠頂上を少し下った場所からは、大志地区が一望できる。



群青色の空に
映えるいちよう

沼沢湖へ行く途中に通る太郎布地区にあるいちようの木。

金山の地を
覆い尽くす雪

多い場所では3メートルを超える積雪がある、県内でも有数の豪雪地帯。



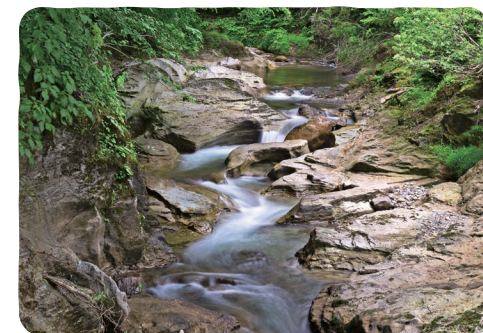
さけだち
鮭立の
まがいぶつ
磨崖仏

昭和52年7月1日に町指定文化財に。幅5メートル、高さ約2メートル、奥行き1.5メートルの洞穴に彫られた、江戸時代後期の51体の仏像群。



たきざわ がわ けつぐん
滝沢川おう穴群

川床の岩のくぼみなどに小石が入り、水流で回転しながら川床を深く削った穴のことを表す「おう穴」。滝沢川のおう穴は東北最大級を誇る。



きゅうい がしま けじゅうたく
旧五十島家住宅

昭和53年4月7日に県指定文化財に。江戸時代中期の宝暦頃に建てた沼沢地区の五十島家を、原型を残したまま正確に復元したもの。



みやざきしょうかんのん ざう
宮崎聖観音坐像

昭和49年5月7日に県指定文化財に。両眼には水晶で作られた玉眼がはめ込まれ、体全体に塗られた漆の上には金箔が施されている。

かねやまの文化財

歴史でつなぐ友好都市



金山町は埼玉県羽生市・埼玉県鴻巣市と友好都市を結んでいます。両市と友好都市を結びつかけとなったのは、金山町の町史編纂（ちょうしへんさん）その土地の歴史や人物を収録したものでした。

横田中丸城主・山ノ内氏勝の子孫である横田氏は鴻巣市（旧吹上町）に居住し代々医業を営んでおり、その後、横田氏は羽生市に移り住みました。

こうした歴史的な結びつきにより、金山町は昭和57年に埼玉県羽生市と、平成7年に埼玉県吹上町と友好都市を結びました。その後平成17年10月1日に吹上町と鴻巣市川里町が合併し新しい鴻巣市が誕生したことから、平成18年に改めて鴻巣市と友好都市を結びました。

埼玉県羽生市 | さいたまけんはにゅうし

羽生市は、まんじゅうをもち米で包んだ「いがまんじゅう」や、モロヘイヤを使用した商品で有名です。「田山花袋」の小説「田舎教師」の舞台にもなっており、作者名にちなんだ花袋せんべいが商品化されています。

江戸時代から続く藍染のまちでもあり、武州正藍染は手染めの微妙な風合いがあり色合いはともにも美しい逸品です。市の木はモクセイ、花はフジが指定されています。



埼玉県鴻巣市 | さいたまけんこうのすし

鴻巣市の人形製作は約400年の歴史があるといわれ、江戸時代から「ひな人形のまち」として知られています。「関東三大雛市」のひとつに数えられており、現在も伝統の技術を守りながら質の高い「鴻巣雛」が製作されています。日本有数の花産地でもあり、マリーゴールドやサルビアは出荷量日本一を誇ります。市の木はけやき、花はパンジーが指定されています。



歴代町長



十四・十五代
長谷川 律夫



七・八代
渡部 義博



一・四代
渡邊 利一郎



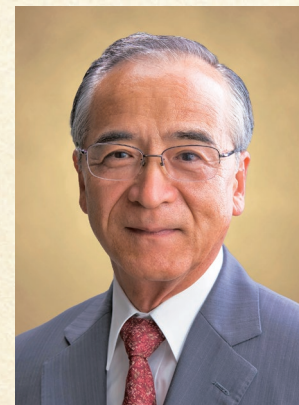
十六代
長谷川 盛雄



九・十・十一代
長谷川 恒雄



二・三代
渡部 文衛



十七代・十八代
押部 源二郎



十二・十三代
齋藤 勇一



五・六代
長谷川 源太郎

歴代議長

初代	長谷川 源太郎	二	長谷川 源太郎	三	長谷川 源清	四	星 賢正	五	星 賢正	六	坂内 逸次	七	渡部 義博	八	加藤 伊之助	九	栗城 勝雄	十	栗田 正男	十一	渡部 太一	十二	青柳 儀忠	十三	星 賢一	十四	滝沢 宏吉	十五	船城 和雄	十六	長谷川 盛雄	十七	長谷川 盛雄	十八	五ノ井 清二	十九	五ノ井 清二	二十	五ノ井 義一	二十一	五ノ井 義一
----	---------	---	---------	---	--------	---	------	---	------	---	-------	---	-------	---	--------	---	-------	---	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	-------	----	-------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	-----	--------

Event Schedule

* 羽生市

- 3月中旬
藍のまち羽生
さわやかマラソン大会
- 4月下旬～5月下旬
大天白公園の藤まつり
- 7月上旬
羽生夏まつり
- 10月上旬
羽生よさこいフェスティバル
- 11月上旬
商工まつり
- 11月2日～11月15日
菊花大会
- 11月下旬
世界キャラクターさみっと
in羽生

* 鴻巣市

- 2月中旬～3月上旬
鴻巣びっくりひな祭り
- 3月下旬～4月上旬
鴻巣さくら祭り
吹上さくら祭り
川里さくら祭り
- 5月中旬
こうのす花まつり
- 7月上旬
夏祭り
- 10月上旬
こうのす花火大会
- 10月中旬
おおとり祭り
- 10月下旬
コスモスフェスティバル
- 11月上旬
かわさとフェスティバル
- 11月中旬
産業祭

金山町のこと

金山町民憲章

- 一、自然を愛し、美しい町をつくりましょう
- 一、健康で、生きがいのある町をつくりましょう
- 一、教養を高め、文化の町をつくりましょう
- 一、親切をつくし、豊かな町をつくりましょう
- 一、決まりを守り、明るい町をつくりましょう

(昭和60年3月30日制定)

金山町民の歌

作詞…佐藤 スイ子
補作…村野井 幸雄
作曲…皆川 郁夫

御神楽おろしが 春をよぶ
こぶし花咲く ふるさとは
心ゆたかな 桐の町
みどりの風のささやきに
未来のあしおと きこえます
限りない希望にむかい 鳥がなく
「かつこう かつこう」
いいなあ かねやま
いでゆの 紅葉
火祭りがこみ輪になって
みんな仲よく みんな仲よく
共に励まん 金山町
共に歌わん 金山町

(昭和60年3月30日制定)



町の木「桐」

金山町の特産として生活に密着し、
厳しい自然の中で育ちゆく姿は
町の発展を象徴しています。



町の花「こぶし」

純白でかざり気のない花は、
町の人々のあたたかな心の
ふれあいを表わしています。



町の鳥「かつこう」

山あいにとだまする
のどかな鳴き声は、
平和で素朴な自然を歌っています。



金山町合併 70 周年
70TH ANNIVERSARY

福島県金山町合併70周年記念誌

発 行

福島県金山町

〒968-0011 福島県大沼郡金山町大字川口谷地393

令和7年11月発行